

住まいの防災・減災情報

雪災

本サービスは、弊社の豊富な事故データをもとに、事故の防止・被害軽減策について、シリーズでご紹介します。

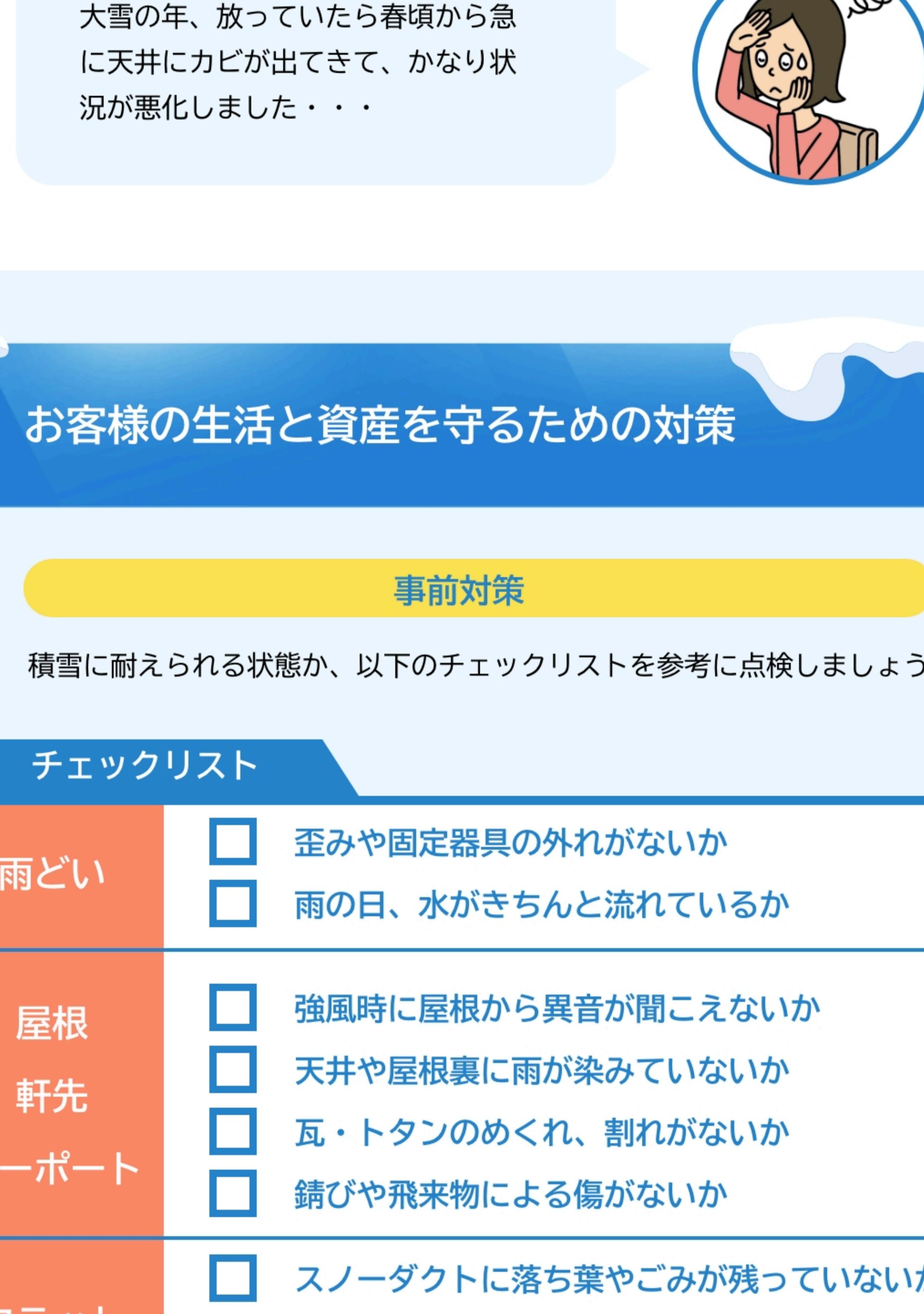
今回は「大雪による事故」をテーマに配信しますので、本メールをご参考に対策いただくことで、事故防止・被害軽減に役立て頂ければ幸いです。豪雪地帯以外でも大雪による被害が生じることがありますので、ご注意ください。

落雪・積雪で家が被害を受けると修理までに長期の時間を要することも

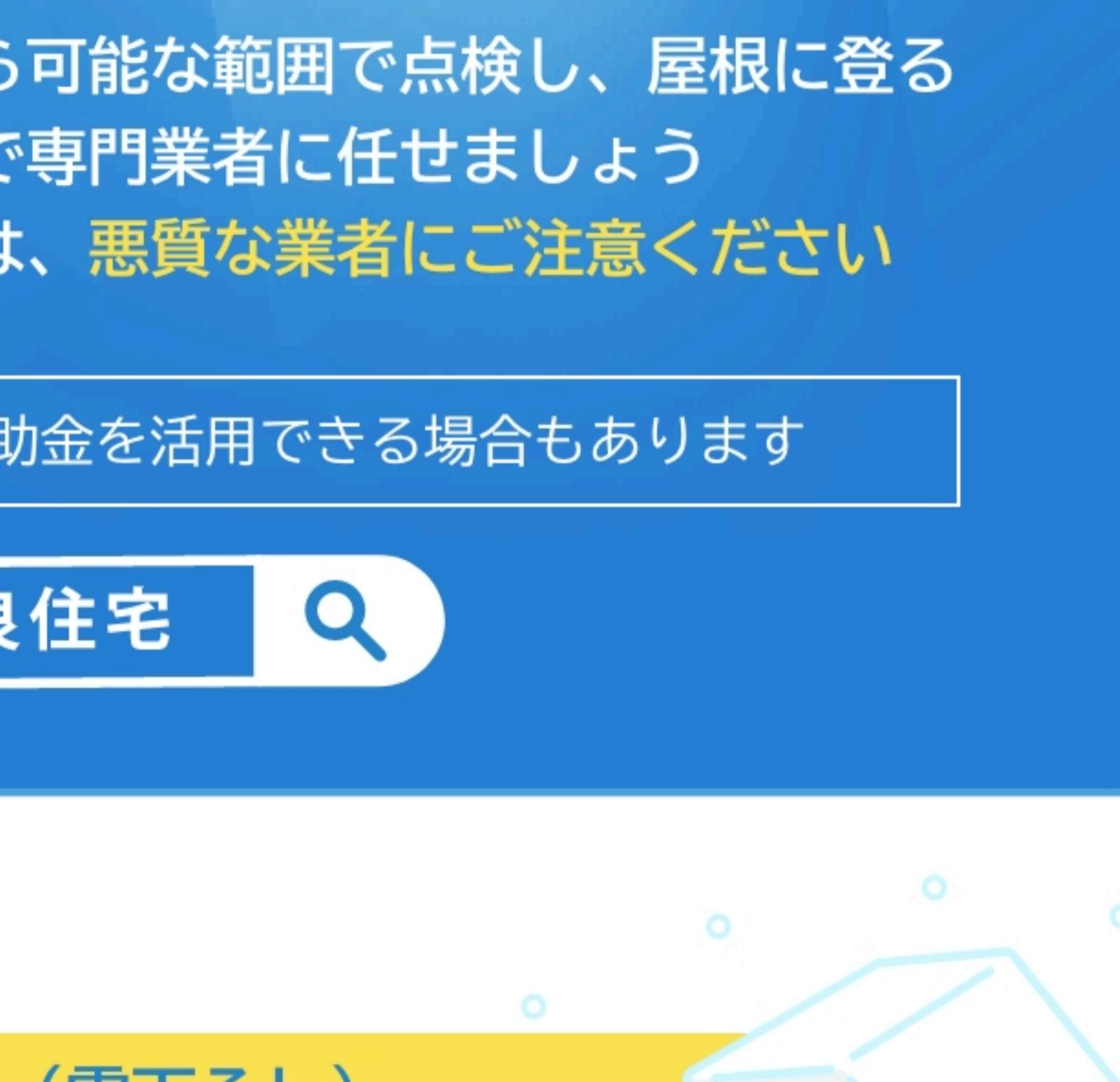
落雪・積雪の被害は

屋根・雨どい・軒先・カーポートに集中

築年数20年以上の住宅は特に被害が多くなります



専門業者に頼んでも、雪のある中の修理は無理と言われてしまい、3ヶ月間も寝室に水がポタポタ降ってくる状態に・・・



お客様の生活と資産を守るための対策

事前対策

積雪に耐えられる状態か、以下のチェックリストを参考に点検しましょう

チェックリスト

雨どい

- 歪みや固定器具の外れがないか
- 雨の日、水がきちんと流れているか

屋根

- 強風時に屋根から異音が聞こえないか

軒先

- 天井や屋根裏に雨が染みていないか

カーポート

- 瓦・トタンのめくれ、割れがないか

フラット

- 錆びや飛来物による傷がないか

ルーフ

- スノーダクトに落ち葉やごみが残っていないか

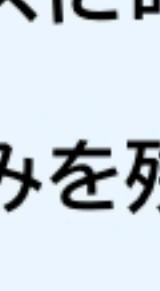


- 屋外やベランダから可能な範囲で点検し、屋根に登る点検は危険ですので専門業者に任せましょう

- 専門業者を探す際は、悪質な業者にご注意ください

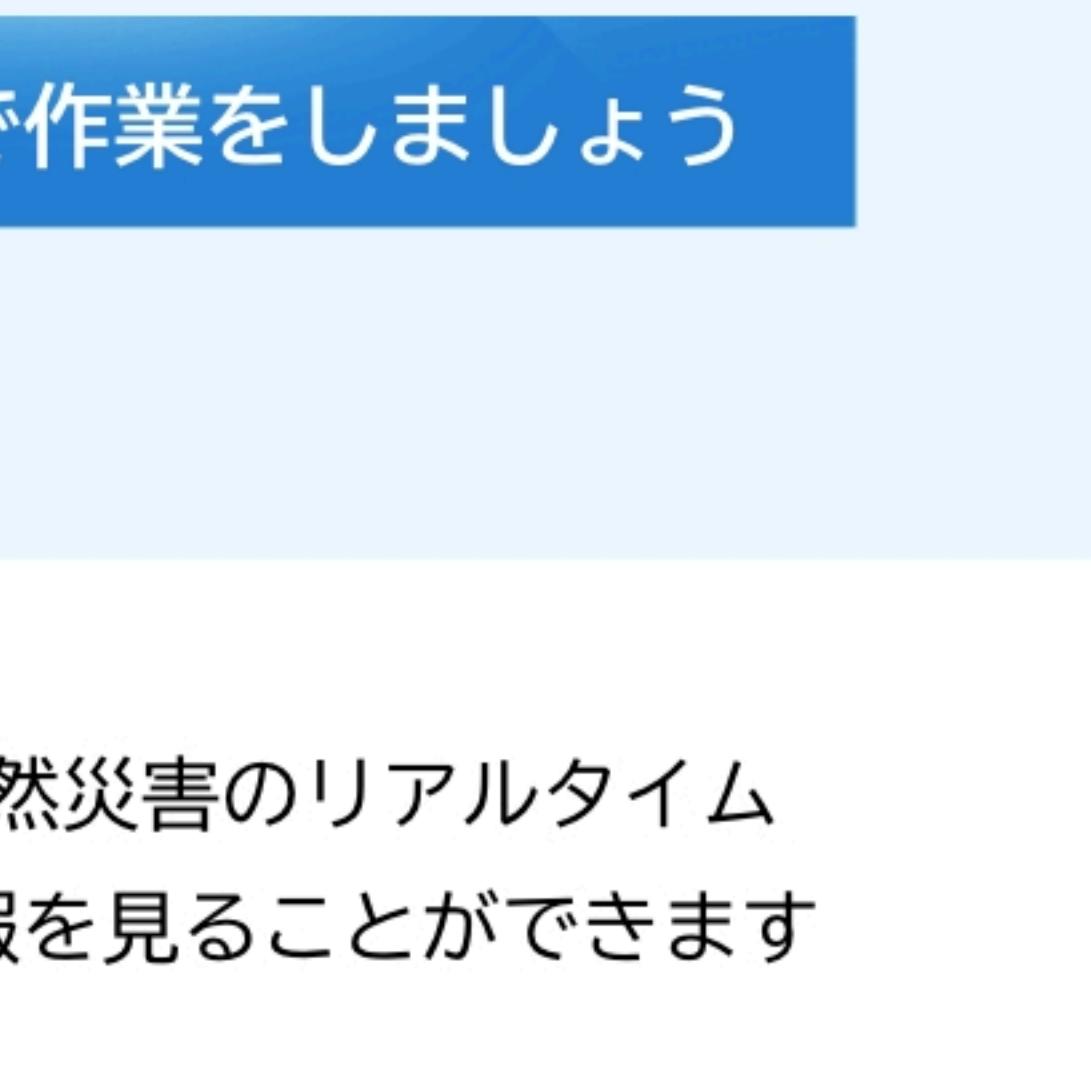
修理・固定に国・自治体の補助金を活用できる場合もあります

長期優良住宅



降雪時の対策（雪下ろし）

雪下ろしは重大な事故も起きうる作業ですので、注意事項をよくご参考いただき、また難しい場合は無理せず専門業者に依頼してください



雪下ろしをするタイミング

- 1m程度の積雪が目安（カーポートは20cmが目安）
(家・カーポートの強度や積雪による変化等、状況に合わせて実施)
- 雪下ろしのタイミングを知らせる雪下ろシグナルも目安に



- 0°C以上の日や日差しの強い日は雪が解け滑りやすいため無理をしない

- 風の強い日や雪で視界が悪い日も転落しやすいため無理をしない

雪下ろしの方法

- 雪下ろし安全10箇条（国土交通省ウェブサイト）を読み必要な

装備を揃え、注意点を確認する

- 立ち木等に命綱を固定する

- 固定したはしごから屋根に登ってハーネスに命綱を結ぶ

- 屋根材で滑らないように10cmほどの厚みを残して雪下ろしする

- 事故防止のため、なるべく2人以上で作業をしましょう

弊社Webサイトにて、大雪・寒波はじめとした自然災害のリアルタイム情報や雪下ろシグナルをはじめとした防災減災情報を見ることができますのでぜひご活用ください

